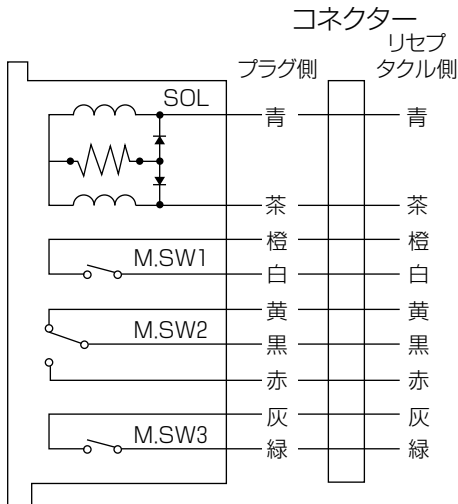


①内 部 回 路
及 び
電 気 仕 様



名 称	定 格			
ソレノイド (施解錠動作)	電 圧 DC24V (±20%)	電 流 0.4A (±20%)	通電時間 瞬 時 (0.2～0.5秒)	通電率 1／20
マイクロスイッチ (ロッド出入信号)	電 圧 DC24V	電 流 2mA～100mA	有効チリ寸法 12mm以内	
マイクロスイッチ (施解錠信号)	電 圧 DC24V	電 流 2mA～100mA	非常解錠信号も 左記に準ずる	

SOL…………施解錠ソレノイド(極性あり)
(青) (+) (－)

施錠 解錠
(茶) (－) (+)

M.SW1…………ロッドバー出入信号用マイクロスイッチ

M.SW2…………施解錠信号用マイクロスイッチ

M.SW3…………非常解錠用マイクロスイッチ

(本図は、解錠・ロッドバー引き込み・
非常解錠をしない状態を示す。)

②操 作

錠

- a) キー (サムターン) による施錠
- イ) 扉を閉めハンドルを最後まで回してロッドバー及びデッドボルトを突出させる。
- ロ) キーをシリンダーに差し込み (サムターンを) 錠のフロント側 (回せる方向) に30°回す。

- b) 電気的な操作による施錠
- イ) 扉を閉めハンドルを最後まで回してロッドバー及びデッドボルトを突出させる。
- ロ) 操作盤の施錠押釦を瞬時押す。

ハンドルが固定され
入室できない。

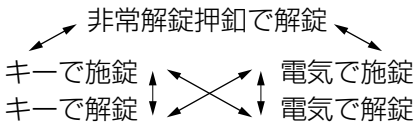
錠

- a) キー (サムターン) による解錠
- イ) キーをシリンダーに差し込み (サムターンを) 扉の吊元側 (回せる方向) に回す。
- b) 電気的な操作による解錠
- イ) 操作盤の解錠押釦を瞬時押す。
- ロ) 煙感知器等と連動して自動的に解錠できる。
- c) ALGEのとき非常解錠押釦を押す。

ハンドルを回して
扉を開ける。

(注)

1. 施錠するときハンドルは最後まで回してください。ハンドルが途中で止まっていると施錠できません。
2. 停電時及び停電復帰後は、何らかの操作を行わない限りそれ以前の状態 (施錠又は解錠) のままである。
3. キー (サムターン) と電気的な施解錠の組み合わせは任意である。



③確認機能

ロッドバー出入確認

- a) 扉を閉めハンドルを回してロッドバー及びデッドボルトを突出させると錠ケース内のマイクロスイッチのA接点が閉じる。
- b) ハンドルを回してロッドバー及びデッドボルトを引っ込めると錠ケース内のマイクロスイッチのA接点が開く。

点灯・ブザーと結んで
ロッドバーの出入状態が
遠隔所で判る。

施 解 錠 確 認

- a) 解錠状態では、錠ケース内のマイクロスイッチのB接点が閉じている。
- b) キー又は電気で施錠状態にすると、マイクロスイッチのB接点が開き、変わってA接点が閉じる。

点灯・ブザーと結んで
施・解錠の状態が
遠隔所で判る。

非 常 解 錠 確 認

- a) 非常解錠押釦を押すと錠ケース内のマイクロスイッチのA接点が閉じる。

点灯・ブザーと結んで
非常解錠されたことが
遠隔所で判る。

お 願 い

- 錠前の動作や操作が正常でない場合には、以下の確認を行ってください。
- 正常にならない場合は、最寄りの当社営業所へご連絡ください。

電気錠ALG(E)のチェックリスト

1.電気錠の取付け等 (建具工事) に関するチェック (各取付けねじは、しっかり締め付けてください。)

チ エ ッ ク 項 目	結 果	備 考
●設計仕様がALG(E)となっているか。又、電気錠はALGか。		
●扉の状態は正常か。 (1)扉のねじれ・ゆがみ等がないか。 (2)扉の反発がないか。 (3)錠前側の縦チリは6mm以内か。		
●錠ケースの取付け状態は良好か。 (1)フロントが扉面に正しく納まっているか。		
●シリンダー・サムターンの取付け状態は良好か。 (1)MIWAマークが上になっているか。 (2)ガタツキがないか。		
●レバーハンドルの取付け状態は良好か。 (1)ガタツキ・ゆるみがないか。 (2)動きがスムーズか。		
●非常解錠装置の取付け状態は良好か。(ALGEのみ) (1)ガタツキ・ゆるみはないか。 (2)非常装置取付側のみ、異物混入防止シールをはがしたか。		
●ストライクの取付け状態は良好か。 (1)取付方向は正しいか。 (2)デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下、前後。		
●ロッドバー・上部受・下部受の取付け状態は良好か。 (1)ロッドバーの向き、上部受・下部受のローラーの向きは正しいか。		
●通電金具の取付け状態は良好か。 (1)通電金具と丁番の軸芯があっているか。 (2)通電金具が扉反発の原因となっていないか。		
●扉内の結線は正しくなされているか。 (1)電気錠と通電金具の間の結線は結線図どおりなされているか。 (2)コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 (3)断線はないか。		
●扉を開けた状態での電気錠の動作チェック。 (1)レバーハンドルは固定されているか。		
●扉を閉じた状態での電気錠の動作チェック。 (1)扉を閉めレバーハンドルを回せるか。 (2)サムターン (またはキー) をフロント側に約30°回せるか。 (3)その時、レバーハンドルが固定されて回らなくなるか。 (4)サムターン (またはキー) を吊元側に約30°回したとき (サムターンは垂直状態のとき) レバーハンドルを回して、デッドボルト・ロッドバーを引っ込め扉が開けられるか。		

2. 操作盤の動作及び結線 (電気工事) 等に関するチェック

●操作盤はALG(E) (瞬時通電施解錠型) 用か。		
●結線は正しくなされているか。 (1)操作盤と通電金具の間の結線は、結線図通りなされているか。 (2)コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 (3)断線はないか。 (4)配線は、操作盤とALGの間の距離に見合う太さの線を使用しているか。 (0.3mm ² 単位で90mまで)		
●電源を投入すると電源ランプは点灯するか。		
●扉を閉じた状態で、 (1)レバーハンドルを回しきるとロッドバー突出ランプが点灯するか。		
●施錠釦を押したときの動作は良好か。 (1)施錠ランプが点灯する (又は、解錠ランプが消灯する) か。 (2)レバーハンドルが固定されて回らなくなるか。		
●解錠釦を押したときの動作は良好か。 (1)解錠ランプが点灯する (又は、施錠ランプが消灯する) か。 (2)レバーハンドルを回してデッドボルト・ロッドバーを引っ込め扉が開けられるか。 (3)その時、ロッドバー突出ランプが消灯するか。		